

平成30年度第3回亀岡市文化財保護委員会 会議録

1. 日時 平成31年2月20日(水) 午前9時30分～午前11時00分

2. 場所 亀岡市役所 2階 201会議室

3. 出席委員

安藤 信策 委員

井本 伸廣 委員

鵜島 三壽 委員

加藤 美智恵 委員

豊田 知八 委員

永光 寛 委員

長谷川 澄夫 委員

4. 欠席委員

井上 良雄 委員

深町 加津枝 委員

藤井 健三 委員

山下 ひろ子 委員

5. 出席事務局職員

田中 亀岡市教育委員会教育長(途中退席)

大西 社会教育課長

土井 社会教育課文化財係長

飛鳥井 社会教育課文化財係主事

渡部 社会教育課文化財係主事

6. 傍聴者 なし

7. 議事の概要

(1) 開会

(2) 教育長あいさつ

(3) 協議事項(指定案件調査報告及び指定答申案について)

(4) 閉会

協議事項

◆指定案件調査報告について

○亀山城惣構跡（宗福寺境内）の現地測量結果等について、事務局から報告を行った。

○報告を受け、委員から次のような質問・意見があった。

委員：今回の指定範囲は。

事務局：指定調書のとおり、矢田町26のうち約955㎡である。

委員：境内墓地を指定範囲から除くということは記載されているか。

事務局：指定調書にて記載している。

委員：指定区域と墓地の境界を明示するものはあるのか。

事務局：杭を打っており、図面上の指定範囲についてもそれを基に定めている。

委員：惣構跡と水路の境界はどこになるのか。

事務局：水路の壁と盛土の間であり、水路は含まれない。

委員：竹木等、惣構上の植物について触れたが、正保の城絵図等を確認すると惣構の上
に草木と思われる絵が描かれており、構成要素として意識されたものであったと
思われたため調査を行った次第である。

委員：惣構上に生えている竹のほとんどは真竹であるが、一部破竹も含まれている。御
住職によると、これは墓地側から侵食してきたものとのことである。

委員：史跡の説明板等を設置する場合、設置場所についても検討が必要であろう。

委員：測量等についても30%程度のものであり、過去の写真や聞き取り等、少ない調
査記録を補うデータの収集は今後も必要となる。

委員：明治時代の地籍図（トレース）が大山崎町歴史資料館にあるほか、旧町の一般の
方が明治時代の町内絵図をお持ちであるなど、関係データが複数ある。

委員：指定まで、ではなく一般の方々へ周知啓発、公開までが行政としての役目である
と思うので、取り組みを進めてほしい。

◎質問・意見を踏まえ、亀山城惣構跡（宗福寺境内地）について、全会一致で亀岡市指定
文化財として答申する方向で決した。

◆亀山城惣構跡（宗福寺境内）の市指定文化財の指定（答申）（案）について

○亀山城惣構跡（宗福寺境内）に係る亀岡市指定文化財指定答申案について、事務局から説明を行った。

○説明を受け、委員から次のような質問・意見があった。

委員：添付書類として公函を添付する必要がある。

委員：現況写真に、現在時点よりも以前に撮影されているものが含まれている。撮影日を明示するか、直近の写真に差し替えを行ったほうが良い。

事務局：直近のものと差し替える。

委員：指定された場合、活用の一環として見学会的なイベントを実施するのも良いだろう。あらかじめ日を指定して、というのであれば所有者の理解もある。調整をお願いしたい。

委員：丹波亀山城惣構跡保存会とも連携して、啓発パンフレットなどを、観光案内所等人目のつくところにより設置してはどうか。

委員：指定後の管理という面から所有者側の方との話し合いをお願いしたい。

8. 閉会

以上